

環境大臣賞受賞 (2020年度持続可能な社会づくり活動表彰)

持続可能な社会づくりの人材育成塾

あいち

2026
年度

環境塾



主催：(公財)名古屋産業科学研究所

後援：環境省中部地方環境事務所、愛知県、名古屋商工会議所

あいち環境塾 検索



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

● 開講の趣旨

世界の資源・エネルギー需要や廃棄物は増加を続け、気候変動や生物多様性の低下など、地球環境問題も一層深刻となっています。2040年に向けて持続可能な社会を指向するSDGsが社会に浸透し、カーボンニュートラル、サーキュラーエコノミー、ネイチャーポジティブといった新たな概念が国際社会で共有されるなど、世界は大きく転換しつつあります。こうした世界の潮流の中で、愛知県においても環境と産業、暮らしの調和した持続可能な社会に向けて、産官学民が一丸となって、新たな社会の仕組みを創り出していかなければなりません。

愛知県は、モノづくり県として様々な産業技術が集積しているのと同時に、我が国有数の農業県でもあり、さらには豊かな海や森林にも恵まれ、3大都市圏の一角として多くの人口を有しています。持続可能で活力ある地域を実現するためには、こころざしを持った多種多様な人材が共に手を携え、こうした資源を大いに活用し、活躍されることが望まれます。

こうした考えのもと、企業や大学、行政など様々な立場でリーダーとして活動する人材を育成するため、2008年度から「あいち環境塾」を開講しており、講師に環境分野を牽引する研究者や実務者を迎え、講義に加え、講師との意見交換やチーム活動を通して塾生同士が切磋琢磨し、目標を共有する仲間づくりができることを目指しています。また、ここで得られた財産を糧に、それぞれの職場や地域社会の発展に向けて力を発揮されるよう、卒塾後のサポートも行っています。

持続可能な社会に向けて、環境と愛知の未来を共に考えていきましょう。皆さんの「あいち環境塾」へのご参加をお待ちしています。

● あいち環境塾の特色

1 「環境」を多角的に学び、「統合」をめざす「塾」

企業の取組であっても、行政の取組であっても、環境のプロジェクトを実現し成功させていくためには、地球環境や社会全体に与える影響を考えることが必要です。環境に一人勝ちはあり得ないのです。良いプロジェクトを企画するためには、企画者自身が環境について様々な視点から多角的に学び、それらを統合して、利害関係者に働きかける、大きな発想が求められます。「あいち環境塾」は、このような「統合」をしていただけるような場を目指しています。

2 “こころざし”を持った人材が集う「塾」

「あいち環境塾」は、企業や大学、行政などで「環境」の実務や研究に携わる持続可能な社会づくりの“こころざし”を持った人々が集います。自らが積極的に学び、意見を交わすことを通じて、互いの視野を拡げ、分野を越えた協働の可能性を発見する、交流の場となることを目指しています。

3 各分野の第一人者と対話できる「塾」

「あいち環境塾」の講師陣には、カーボンニュートラル、サーキュラーエコノミー、生物多様性、環境ビジネスなど、各分野における我が国の第一人者を招聘します。塾生は、講義を受けるだけでなく、講師との意見交換を通じて、理解を深めることができます。

4 ビジネスモデルや政策の提言に向けたチーム活動

塾期間中を通して、チームで「20年後の未来社会へ向けての環境に関するビジネスモデルや政策」づくりに取り組んでいただきます。最終日には、各チームからビジネスモデルや政策に関する研究成果を発表していただきます。

5 卒塾後の活動

卒塾生は、塾で学んだ知識や経験を生かし、それぞれの職場や地域での環境活動に取り組んでいます。また、塾生同士、アドバイザー講師、卒塾生、講師とのネットワークを卒塾後の活動に生かすことができます。



チームディスカッション



講師との懇談



著名な講師による講演

● あいち環境塾

塾長



(公財)名古屋産業科学研究所 理事長
内藤 弘康

顧問



(公財)名古屋産業科学研究所 理事
愛知工業大学 工学部 教授
鈴置 保雄

プログラム・コーディネーター



(公財)名古屋産業科学研究所 理事
愛知工業大学 総合技術研究所 教授
近藤 元博氏

● 講師陣

ファシリテーション



実践女子大学
国際学部
教授
九里 徳泰氏

水と気候変動



東京大学
大学院工学系研究科
教授
沖 大幹氏

資源循環と社会



東海大学
教授
中部大学
名誉教授
細田 衛士氏

日本のエネルギー戦略と
カーボンニュートラル



東京科学大学
名誉教授
柏木 孝夫氏

生物多様性のしくみ



名古屋工業大学
社会学専攻
教授
増田 理子氏

海洋プラスチック汚染の
現状と課題



九州大学
応用力学研究所
教授
磯辺 篤彦氏

世界で注目を集める
ESGとSDGs



梶野村資本市場研究所
野村サステナビリティ研究センター
センター長
江夏 あかね氏

自然の恵みはタダなのか？



京都大学
大学院農学研究科
教授
栗山 浩一氏

環境分野で
オープンイノベーションを目指す



早稲田大学
教授
尾崎 弘之氏

身近に迫っている
極端気象



気象予報士
井田 寛子氏

● アドバイザリー講師陣

「あいち環境塾」では、若手研究者の先生方を中心とした「アドバイザリー講師」により、塾生の皆さんの相談やチーム活動のサポートを行っています。

入澤 寿平 岐阜大学 工学部 化学・生命工学科 准教授

福澤 和久 愛知工業大学 経営学部経営学科 経営情報システム専攻 講師

薄井 智貴 愛知工業大学 経営学部 経営学科 経営情報システム専攻 教授

志水 剛 あいち環境塾10期生
特定非営利活動法人AKJ環境総合研究所 環境カウンセラー

鈴木 英司 あいち環境塾11期生(中小企業診断士・事業構想修士)
愛知海運株式会社 海外戦略兼サステナビリティ事業推進室 次長

鈴木 剛 (公財)名古屋産業科学研究所 常務理事

谷端 直人 名古屋工業大学 工学部 生命・応用化学専攻 助教

豊田 将也 豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系 准教授

羽田 裕 愛知工業大学 経営学部経営学科 経営情報システム専攻 教授

町田 洋 名古屋大学 未来社会創造機構 准教授

村野 宏達 名城大学 農学部 生物環境科学科 教授

矢野 昌彦 名古屋産業大学 大学院環境マネジメント研究科
現代ビジネス学部経営専門職 学科長 教授

石川 麻利江 あいち環境塾16期生
株式会社おとうふ工房いしかわ 社長室 室長

※2026年4月現在

● 講座のご案内

持続可能な
社会づくりのための
知識の取得

課題を発見し
解決する能力など、
リーダーとして必要な
スキルの取得

産学官の
人材ネットワークの
形成

■ 開催日 2026年6月6日(土)～11月21日(土)までの間の12日間
※詳細は別途のカリキュラムをご覧ください。

■ 募集期間 2026年3月30日(月)～ 5月22日(金)

■ 講座プログラム

開講式、オリエンテーション	6月6日(土)
講義、講師との懇談 チーム活動等	6月20日(土)～10月24日(土)のうち5回 午前／環境分野で活躍する著名な講師による講義 午後／講師等との自由な意見交換
特別講演会	9月12日(土)、9月26日(土)、11月7日(土)
発表会・卒塾式	11月21日(土)午後 活動成果を発表

※原則、全日程に参加して修了となりますので、出席日数等により修了証書をお渡しできない場合がございます。

■ 参加にあたって

参加費	66,000円(税込)
募集対象者	企業、団体、行政機関等に所属されている方で概ね60歳までの方 (原則、全日程参加できる方)
定員	20名

■ 申込方法

以下のURL又はQRコードから申込フォームにアクセスし、
所属、氏名、応募動機など必要事項を入力しお申込みください。
※定員を超えた場合は申込フォームの記載内容に基づき選考させていただきます。
<https://www.nisri.jp/chc/gathering-form.html>



■ 参加者へのお願い事項

- ・ 社会情勢等により、Web受講 (Zoom) となる場合があります。インターネットが利用できるノートパソコン等を各自ご用意ください。
- ・ 開催日程、時間、会場等については、やむを得ず変更となる場合がございます。
- ・ その他、会場内では主催者の指示に従ってください。

■ お問い合わせ・お申込み

公益財団法人名古屋産業科学研究所 中部ハイテクセンター (CHC)

〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目10番19号 電話: (052) 223-6639

E-mail: kankyojuku@nisri.jp

URL: <https://www.nisri.jp/chc/gathering.html>